

[第 164 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

2025 年 7 月



主 催 NPO法人高島藤樹会

- 日 時 2025 年 8 月 3 日 (日) 15時～17 時
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 熊沢蕃山著・伊東多三郎現代文訳『集義和書』(中央公論社)p.236～
- 塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)

2025 年 7 月 5 日(土)、第 163 回藤樹人間学塾を開きました。今回は初参加 4 名を含めて 12 名の参加(うち女性 5 名)でした。

■ テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』(中公バックス日本の名著)

■ テキストの見出し

「集義和書」巻八 義論の一 論語と大学、易と孝経を輪読し、資料も説明しました。

■ 配布資料

(1)「まなざし 482 号」、(2)安岡正篤『易経講座』序論一易学の基本概念、(3)中江藤樹・西晋一郎

『孝経啓蒙』、(4)五木寛之「千年の名言 源信」(致知)、(5)歎異抄「悪人正機」他

■ 今日のポイント

- ・ 論語と大学…(1) 論語の教えは孔子が直接教えられたもの。恕＝仁(他に対する思いやり)が徳の根本。(2) 大学は治世の道を説いた。修身(身を修め)→齊家(家を整え)→治国(国を治め)→平天下。
- ・ 易と孝経…(1) 易経。天は無限の包容力を持ち無限に変化する。我自体その本源に立てばいくらでも自分を易(か)えていくことができる。60 になっても 70 になってもなっただけの変化をする。生きている限りは変化してやまない。これが本当の易学。「人間万事塞翁が馬」とは。安田善次郎の「身家盛衰循環図」とは。
- (2) 孝経。愛敬は元来一本の孝徳である。孝徳は天地万物を生み出す太虚神明に外ならぬ。人間の心の慈愛おだやかなものは太虚(大宇宙)の発露である。これが藤樹先生の教えの根本。

・ (以下略)

■ フリートーク

- ・ 「配布された資料を見て、関心があるものは自分でその本を読み直すと考えが深まる」
- ・ 「私は『自分の心の主となれ』を座右の銘としている…源信の教えとつながっているかも」
- ・ 「初参加。安岡正篤師の『50 年にして 49 年の非を知りますます勉強する』に感銘を受けた」
- ・ 「修身が基本と分かったが自分の行動に自信が持てない」→善行を繰り返すことで心も定まる。
- ・ 「私が人間学塾に行くと和やかになって帰って来るので、妻が塾へ行けという(笑)」

などの意見をいただきました。ありがとうございます。

■ 懇親会

今回は久しぶりに塾後に近くの料理屋で懇親会を行い、楽しく情報交換しました。

皆で学ぶと議論が深まります。学ぶは愉し！難しいところも資料を用意して分かりやすく解説します。人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。

